これは何でしょう

答えについての思い出などもお待ちしています。

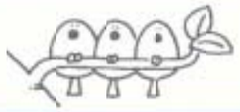
◪しめきり　9月17日(火)必着
◪あて先　〒783　南国市大埇甲二三〇一　南国市企画課親子クイズ係
◪賞品　正解者の中から抽選で5人の人に図書券を進呈

◎第292回親子クイズの答えは、ウキワ（ウキ袋）でした。

第292回当選者発表（敬称略）
（応募総数38通）

別役　沙紀（緑ケ丘）
鶴島　久代（大埇乙）
西川　紹子（岡豊町）
横山　和恵（緑ケ丘）
高木美和子（前浜）

広場



農業が大好き!!

育苗に精出す鈴木さん

グッと進んだ近代化いま
「農業が輝いています」
ライスセンターのパワーアップやほ場整備が充実し、ますます発展する南国市の基幹産業「農業」。
若者の就農が少ないといわれてきましたが近年その環境は、少しずつ変化しています。

鈴木郁馬（ふみま）さん（昭和四十二年十二月十二日生まれ、二十八歳）は、神奈川県横浜市の出身です。

南国市で農業をしたいとの強い希望がかなって昨年六月から、長岡農協エリアで農業経営を始めました。

お父さんの仕事の関係で高校時代を高知で過ごした鈴木さんですが、農業とはまったく無縁でした。大学卒業後は、東京の不動産会社に四年間勤務していましたが、農業経営に興味を持ち、長野県の農業実践大学で勉強した後、南国市東崎へ。

東崎の施農家からビニールハウスを借りて、シシトウ栽培農家として一人でがんばっています。

「農業」が土に根をはった仕事である点に魅力を感じているそうです。今は、十アールの借り地での経営ですが、いつかは、自分の土地で現在の規模の数倍の広さにしたいと「夢」を語ってくれました。

技術的なことについては、地主さんや農協の人そして、農業改良普及センターの人、近所の栽培農家に一から教わっているそうで、大変感謝しているとのこと。

新規農業就労者ということで「関係機関などのいろいろな支援もあります。勇気と元気はいっぱいです。友達もたくさんできたし、ご近所の人も親切な人ばかりで良いことづくめです」と楽しくて仕方がない様子。

将来は高知の女性と結婚したいとの希望を持っていて、「ただいま募集中」です。

十月から六月までは、収穫期でたいへん忙しいようですが、七月から九月までは、ゆっくりとした余裕のある生活ができるとのこと。

「収入面でも前職と同じ程度が有り、経営に不安はまったくないそうで、サラリーマンからの転職もお勧めです」と、鈴木さん。

彼の農業経営には、関係者も大変関心を持ち「ぜひ成功して欲しい」と声援を送っています。

思い出がいっぱい

◆よく、小さいころはいなかの川でうきぶくろを使ってあそびましたが、今は海も川も泳いだらいかんきねえ。あんまり使いゆうところみんね。（高木美和子）

◆先日、一歳三カ月の娘を連れ、海水浴に出かけましたが、大喜びでした。今年はまだ浮輪も必要ないですが、来年は浮輪を持って海水浴に出かけたいですね。（横山　和恵）

◆小学生のころ、夏には国分川へよく泳ぎに行ったものです。ある時、浮き袋を持たずに行って、深みでおぼれそうになり近所のお姉さんに助けられた恐い体験があります。（吉本　佳代）

◆こんなかわいい浮輪は昔なかったので、今は孫の浮輪を見るぐらいです。（鶴島　久代）

◆子どものころ、カナヅチだった私にとって浮き輪は必需品でした。最近は、おもしろい形のものがあって楽しいですよね。（山田　香代）

◆私は水泳が苦手で、浮輪がないとなかなか海にも入れません。そのうちできるであろう自分の子どもには、太平洋でスイスイと泳いで欲しいものです。（野口　美紀）

◆川で泳いでいると浮袋からスルッとおちて、おぼれそうになった思い出がある…。コワかったぁ～。（太田　紀子）

みんなの

さわやかさん

世界ジュニアパワーリフティング選手権出場
ベンチプレスで二位入賞

山本　英嗣（えいじ）さん（十市）

八月七日から十一日までフィンランドで開かれた世界ジュニアパワーリフティング選手権。この大会で、山本さんは六十七・五キロ級の三種目合計で自己記録を二・五キロ更新し、その中のベンチプレスでは、堂々の二位入賞を果たしました。

このパワーリフティングは、床に置いたバーベルを背筋が伸びるまで持ち上げる「デッドリフト」、ベンチに横になり胸の上でバーベルを持ち上げる「ベンチプレス」、しゃがんだ姿勢からバーベルを首の後ろにかついで立ち上がる「スクワット」の三種目の合計重量を競い合う競技で、将来はオリンピックの種目になる可能性があるそうです。

今から七年前に始めたこの競技のきっかけは、周りの人に比べて力があり、運動不足の解消になると思ったこと。

当初は、男子で十一階級あるなかの六十キロ級での出場権を得ましたが、「レベルの高い階級で勝ちたい」と二度の代表権を辞退してまで、今回の六十七・五キロ級の代表の座をつかみ取りました。

「順位よりも自己ベストをマークしたい」と話していたように、大会では総合十四位でしたが、自己ベストを更新しました。

この競技の指導者があまりいないため、ゆくゆくは自分が指導者として、そしてもっと興味を持ってくれる人が増えればと願っているそうです。

現在、週に四～五回の練習をこなす多忙の中で、ウエートリフティングとよく間違えられることが、悩みのタネだとか…。

短歌

「それじゃネ」ともう三回もさいたるに
なかなか終らぬ女の電話　西山　岩貞健一郎

喫茶店集う友らの暖かく
胸の痛みもとけてゆきたり　十市　細川　須磨

音たかく夜空に開く揚げ花火
我が宮に見ゆ心せぬ誓　三島　小笠原綾子

いづくにぞつなぐ命か糸とんぼ
木陰にかばそき羽をたためり　亀岩　鳥本　栄

俳句

梅咲きて砂の蔵みし敷瓦　大埇　溝渕　幸枝

突堤に鳥降りて鳴く天草干　上野田　岡崎　菊林

藍倉を見せる蔵業の明かり取り　上野田　門田　郁子

はすの花石上池の美しさ　十市　田所小夜子

すずしさや沢の水音風の音　植野　原　忠男

初蝶や野菊に前の上むひざし　十市　北村あい子

川柳

虫籠の美聲悲しと訴へる　十市　沢村　鶴一